

地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	2022-2023年度実績							会員動向、一人当たり寄付、100ドル寄付参加状況							
			当月合計	前年同月	前年同月比	今期累計	前年同期	前年同期比	今期目標	達成率	企業寄付件数	当月新会員	子会員を除く	一人当たり平均	\$100寄付参加数	\$100寄付参加率	
330-A	東京	増田 正明	23,544	39,289	60%	263,148	232,822	113%	400,000	66%	2	218	5,620	4,260	61.77	596	14.0%
330-B	神奈川・山梨・東京	中澤 一浩	10,466	29,532	35%	426,982	416,124	103%	500,000	85%	0	108	3,580	3,248	131.46	695	21.4%
330-C	埼玉	沼田 浩正	7,360	28,556	26%	68,398	113,126	60%	180,000	38%	6	64	1,745	1,534	44.59	42	2.7%
MD330計	330MDC 阿久津 隆文	吉本 晴夫	41,371	97,378	42%	758,528	762,072	100%	1,080,000	70%	8	390	10,945	9,042	83.89	1,333	14.7%
331-A	道央	松浦 淳一	32,968	67,722	49%	179,170	387,667	46%	200,000	90%	1	125	2,378	2,071	86.51	159	7.7%
331-B	道北・道東	阿部 昭	9,603	43,838	22%	43,089	141,286	30%	150,000	29%	0	89	2,120	1,825	23.61	52	2.8%
331-C	道南	馬場 哲也	6,600	18,665	35%	57,077	77,353	74%	100,000	57%	1	73	1,516	1,270	44.94	112	8.8%
MD331計	331MDC 及川 隆人	須藤 敏幸	49,171	130,224	38%	279,336	606,307	46%	450,000	62%	2	287	6,014	5,166	54.07	323	6.3%
332-A	青森	岡田 殉	3,680	6,700	55%	37,159	72,824	51%	100,000	37%	0	75	2,002	1,657	22.43	18	1.1%
332-B	岩手	栗村 安弘	7,580	5,680	133%	60,181	93,814	64%	90,000	67%	0	47	1,893	1,255	47.95	58	4.6%
332-C	宮城	遠藤 誠	3,301	8,264	40%	47,855	74,226	64%	80,000	60%	0	42	1,533	1,159	41.29	63	5.4%
332-D	福島	石澤 孝	4,371	32,792	13%	63,288	134,542	47%	100,000	63%	2	104	2,208	1,730	36.58	53	3.1%
332-E	山形	菅妻 正章	4,000	10,900	37%	37,315	64,737	58%	90,000	41%	0	57	1,672	1,414	26.39	27	1.9%
332-F	秋田	松井 寛信	2,100	2,100	100%	20,534	25,215	81%	50,000	41%	0	24	1,234	962	21.34	17	1.8%
MD332計	332MDC 佐野 宏美	田名部 智之	25,032	66,437	38%	266,352	465,358	57%	510,000	52%	2	349	10,542	8,177	32.57	236	2.9%
333-A	新潟	石川 幸夫	19,600	37,164	53%	66,678	160,485	42%	220,000	30%	0	113	2,710	2,479	26.90	239	9.6%
333-B	栃木	三枝 久夫	2,751	21,686	13%	38,171	76,781	50%	110,000	35%	0	44	1,424	1,015	37.61	70	6.9%
333-C	千葉	高橋 順之	13,050	15,218	86%	160,231	144,935	111%	250,000	64%	0	95	2,715	2,374	67.49	313	13.2%
333-D	群馬	大関 健一	7,230	14,275	51%	62,320	120,007	52%	150,000	42%	0	68	1,835	1,413	44.10	53	3.8%
333-E	茨城	渡辺 博	36,122	62,323	58%	331,342	355,658	93%	450,000	74%	0	124	4,052	2,877	115.17	415	14.4%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	松本 幸史	78,753	150,667	52%	658,741	857,866	77%	1,180,000	56%	0	444	12,736	10,158	64.85	1,090	10.7%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		120,124	248,045	48%	1,417,269	1,619,938	87%	2,260,000	63%	8	834	23,681	19,200	73.82	2,423	12.6%
MD331・332計	331・332 SAL 谷岡 憲行		74,203	196,661	38%	545,688	1,071,664	51%	960,000	57%	4	636	16,556	13,343	40.90	559	4.2%
東日本計	東日本AL 鶴嶋 浩二		194,326	444,706	44%	1,962,957	2,691,602	73%	3,220,000	61%	12	1,470	40,237	32,543	60.32	2,982	9.2%
334-A	愛知	岩田 有司	137,706	260,763	53%	597,472	866,410	69%	1,100,000	54%	0	180	5,313	3,743	159.62	821	21.9%
334-B	岐阜・三重	宇納 一	17,988	72,659	25%	199,578	379,929	53%	330,000	60%	0	96	3,664	2,648	75.37	482	18.2%
334-C	静岡	太田 厚利	24,400	45,617	53%	108,091	255,843	42%	300,000	36%	0	113	2,915	2,626	41.16	182	6.9%
334-D	富山・石川・福井	戸祭 宏樹	40,700	110,675	37%	308,011	311,235	99%	400,000	77%	1	177	4,650	3,367	91.48	592	17.6%
334-E	長野	滝澤 文雄	22,900	83,697	27%	134,381	263,619	51%	250,000	54%	1	79	2,339	1,679	80.04	263	15.7%
MD334計	334MDC 遠藤 紀夫	増澤 義治	243,695	573,411	42%	1,347,533	2,077,036	65%	2,380,000	57%	2	645	18,881	14,063	95.82	2,340	16.6%
335-A	兵庫県(神戸)	浜原 正豊	17,220	35,804	48%	77,490	166,479	47%	200,000	39%	3	73	1,732	1,608	48.19	143	8.9%
335-B	大阪・和歌山	津田 勝之	69,183	176,071	39%	466,378	804,551	58%	900,000	52%	6	268	6,372	4,831	96.54	1,796	37.2%
335-C	滋賀・京都・奈良	一盛 広樹	78,303	161,413	49%	435,668	604,659	72%	550,000	79%	9	158	3,611	3,315	131.42	1,999	60.3%
335-D	兵庫県(姫路)	濱本 嘉代子	11,364	23,575	48%	124,327	226,870	55%	250,000	50%	43	45	1,666	1,452	85.62	338	23.3%
MD335計	335MDC 佐野 圭一	吉村 弘吉	176,071	396,862	44%	1,103,863	1,802,559	61%	1,900,000	58%	61	544	13,381	11,206	98.51	4,276	38.2%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	市村 通夫	74,148	75,082	99%	286,812	341,885	84%	400,000	72%	0	182	5,201	4,428	64.77	549	12.4%
336-B	岡山・鳥取	西尾 慎一	3,900	27,449	14%	42,367	91,372	46%	200,000	21%	0	91	2,453	2,236	18.95	72	3.2%
336-C	広島	弓場 秀俊	14,660	21,519	68%	150,593	276,656	54%	250,000	60%	0	96	2,865	2,535	59.41	116	4.6%
336-D	山口・島根	中島 繁	14,650	18,828	78%	86,263	115,111	75%	200,000	43%	0	128	2,668	2,548	33.86	63	2.5%
MD336計	336MDC 高岡 英治	池原 堅	107,357	142,878	75%	566,035	825,024	69%	1,050,000	54%	0	497	13,187	11,747	48.19	800	6.8%
337-A	福岡・長崎	二場 安之	32,710	31,834	103%	231,454	268,748	86%	500,000	46%	1	222	4,578	3,773	61.34	155	4.1%
337-B	大分・宮崎	杉野 恭市	5,000	39,809	13%	74,512	104,738	71%	200,000	37%	0	68	2,194	1,922	38.77	123	6.4%
337-C	佐賀・長崎	瀬田 浩平	23,331	48,975	48%	112,049	157,874	71%	200,000	56%	0	105	3,106	2,227	50.31	102	4.6%
337-D	鹿児島・沖縄	川田代 泰和	11,350	17,600	64%	67,842	117,786	58%	200,000	34%	0	113	2,158	1,893	35.84	14	0.7%
337-E	熊本	高田 啓世	7,000	9,506	74%	48,391	67,279	72%	150,000	32%	3	66	1,677	1,444	33.51	103	7.1%
MD337計	337MDC 吉村 千鶴子	玉川 孝	79,391	147,724	54%	534,248	716,425	75%	1,250,000	43%	4	574	13,713	11,259	47.45	497	4.4%
MD334・335計	334・335 SAL 北畑 英樹		419,766	970,273	43%	2,451,396	3,879,595	63%	4,280,000	57%	63	1,189	32,262	25,269	97.01	6,616	26.2%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本 充好		186,749	290,602	64%	1,100,283	1,541,449	71%	2,300,000	48%	4	1,071	26,900	23,006	47.83	1,297	5.6%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		606,514	1,260,875	48%	3,551,679	5,421,044	66%	6,580,000	54%	67	2,260	59,162	48,275	73.57	7,913	16.4%
全日本合計	全日本AL 丸山 正芳		800,841	1,705,581	47%	5,514,636	8,112,646	68%	9,800,000	56%	79	3,730	99,399	80,818	68.24	10,895	13.5%

当日資料②

日本ライオンズ アラート委員会（Web）議事録

議事録作成者：MD333 班長 L 若林 純也

開催日時：2023 年 1 月 16 日 10:00～11:50（Web 委員会）

出席者：山川委員長 吉本副委員長 柿原シニアアドバイザー 森川アドバイザー

坂本アドバイザー 佐々木コーディネーター

橋本東日本エリアコーディネーター 藤井西日本エリアリーダー

330 大屋委員 331 野澤委員 332 木川田委員 333 中田委員 334 西村委員

335 団委員 336 高岡委員 337 中田委員

333 班長 若林（進行・委員長補佐） 332 木村副班長（zoom 会議ホスト）

（出席者合計 18 名（対象者全員））

会議進行：MD333 班長 若林

議事進行：佐々木コーディネーター

議 事：2023 年 2 月 28 日開催 仙台アラームフォーラムについて

- 1, アラームフォーラム仙台的日本ライオンズ主催について
- 2, フォーラム開催形式のハイブリッドを辞め YouTube 録画配信について
- 3, YouTube 配信の計画の実行委員会一任について
- 4, 日本 8 複合より 3 万円の拠出について
- 5, 次回開催地（MD336）について

【森川アドバイザー】

これまでの経緯が分からない方もいるのでフォーラムの経緯について再度ご説明いただきたい。

【330 大屋委員】

今回初めて会議に参加しますので、議題に入る前に自己紹介からはじめてほしい。

【332 木川田委員よりアラートフォーラム仙台の流れについて説明】

2022 年 8 月 5 日の日本ライオンズアラート会議において西日本、東日本で繰り返し開催されてきたアラートフォーラムを MD332 仙台で開催されることとして決定され、それを受け 2022 年 10 月の 332 ガバナー連絡協議会でフォーラムの説明をし、2 月 18 日開催で 6 準地区のガバナーの賛同を得た。現在フォーラムの成功に向け準備を進めている。

予算については日本ライオンズ開催として 8 複合から予算拠出いただく案があり、それ

は可能か、金額はいくらが妥当かなどを検討しており、余剰金が出た場合には日本ライオンズに戻すことは言われており、いずれにしても日本ライオンズの開催であれば何等かの連携を図ればと考えておりますし、講師をどなたにするかなどフォーラム内容についても計画を練ったうえで次回開催の336 複合地区へ引き継いでいければと考えてございます。

【坂本アドバイザーよりこれまでのアラートフォーラムについて補足説明】

これまでのアラートフォーラムは日本ライオンズが出来る前から開催されており、各複合地区が自主的に手を上げ複合主催で開催されてきた。日本ライオンズが出来てからは日本ライオンズが後援という形で入り、会場の手配や8 複合への呼びかけなどは主催複合が独自に行ってきたが、今は日本ライオンズが有るのであれば日本ライオンズとして開催し、8 複合地区の意識を揃えるなど啓もうを拡げるのもひとつではないかという考えもあり今回の流れになっているかと思われます。

【森川アドバイザー】

現在のアラートフォーラムに至る経緯についてはご説明で大筋皆さん理解できたと思うが、今期は委員会が開催されなかったなかで委員の皆さんが状況を理解されていないなかでアラートフォーラムについて決まってしまうところ、委員会組織や運営がないがしろになってしまっているところに問題がある。

これまでのアラートフォーラム開催は複合独自で予算も含め通帳コピーなどで残高なども確認しながらきちんと進んできており、余剰金については次回開催に繰り越すとして複合主体で開催していた。アラートフォーラムの開催や事業の継続については誰も反対はしないところと思うが、日本ライオンズとして開催するならまず日本アラート委員会で決まっていくことのプロセスも共有し合意形成をしっかりと図り、そのうえで日本執行理事会や理事会に諮っていく流れにしていただけないと混乱するし物事が決まっていけない難しい状態に陥ってってしまうのではないかと思います。

【会議進行 333 班長 若林】

アラート委員会がこれまで開催されなかったことの経緯や仙台フォーラムの委員会も開けない中でフォーラムが決まっていた流れについて、ライオンズ年度の切り替わりで委員会メンバーが変わるなか、メンバー及びアドレスなど情報が出そろわず招集もかけられなかった状態があったことや、そうしたなかでこれまで複合主体で開催されてきた全国アラートフォーラムは日本ライオンズ主催に変更し開催でどうかという話しもラップして同時にこれまで進んでしまったという経過の説明がされた。

【佐々木コーディネーター】

アラート委員会が開催されなかった理由は委員会を開催するにあたり、日本ライオンズ事務局を通じ各地区、準地区にガバナー協議会などの日程確認を行ったところ、どこかで情報が止まってしまうたり、日程が上がってこないということもあり、日程が後にずれ込み委員会が開催できないという状況になってしまった経緯があり、委員会皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたがそうした事情もあったということで何卒ご容赦いただきたい。

【佐々木コーディネーター】

仙台フォーラムの主催について従来のアラートフォーラム実行委員会から、日本主催で出来ないかと相談提案があって今回の流れになっていますので、仙台アラートフォーラムを日本ライオンズ主催で行うということについて皆さんに賛否を聞きたいと思います。

【330 大家委員】

アラートフォーラムの開催自体には反対ではありません。そのうえでアラート委員会の組織について発言させていただきます。昨日、橋本東日本エリアリーダーより今日の臨時委員会について急ぎご連絡をもらい出席してもらう様要請されたが、これまで何の話しも聞いておらず委員会組織が機能していないのではないかと橋本エリアリーダーに意見させていただいた。

上期に委員会が開催されず、時期的には非常に遅い下期の今に 1 回目の委員会が開催されフォーラムが開催されるという話を聞いても非常に違和感があるのは現実だが、執行部や関係者は政策や開催の在り方についてしっかり議論されたなかで誤解の無いなかで運営をしていただきたいと思います。

【山川委員長】

仙台フォーラムの開催については現在計画されている内容で基本的なところは執行理事会で通り決定していますので、行うことは問題ないと思いますが、皆さんが納得された形で開催されるのが一番だと思いますので、やり方は色々あるとは思いますが今提案されている計画を前提に議論していただければ良いと思います。

【331 野澤委員】

わたしはアラート委員会がスタート時から参加しております。福岡でのセミナー時に全国アラームフォーラムは東西 1 年交互に開催しようということになり仙台になった経緯がありました。

しかしコロナの影響で開催できなかったこともあり、委員長が単年度の難しさもあったが山川委員長が 2 年体制になっていただき今回何とか軌道に乗り開催できそうで日本ライオンズの主催であるということに異議は無く 332 で開催していただければと思います。

【333 中田委員】

330 大屋さんの意見にまったく同じです。ただアラート委員会の在り方やフォーラムの話しなど多岐にわたると今日の会議のなかで収まらなくなってしまうので、今日は仙台フォーラムの開催について話を絞っていただき議論いただければ良いかと思います。

【進行：若林班長】

330 大屋委員、333 中田委員についてはアラート委員会のライングループに入られておらず情報が共有されない状態にございましたので今後は共有改善の必要がございます。

【334 西村委員】

最初にアラートフォーラムが開催されたのは震災の1年後の3月11日に仙台で開催されたのが1回目の開催で、その後は神戸、福島、千葉、福岡開催のあと再度神戸で開催されました。これまでの開催は2月3月頃にされてきましたが、この時期だと道路の雪の影響なども出たこともあり、例えば秋の開催にするなど各準地区の事業時期と照らし開催時期を再検討しいろいろ意見をいただきながら見直す時期にもきてるかと思います。せっかく日本ライオンズにアラート委員会ができましたから主催は日本で担当は複合で主管しということによろしいかと思います。

【335 団委員】

先ほど大屋さん 333 中田さんがおっしゃられたことと同感です。アラートフォーラムについては実施要項なども見たことがありませんし、これから内容を詰められるという話しも聞きましたが、開催は1か月後というなかで会場キャパは何人か、参加予定見込み人員は何人必要かなど含め内容が見えないことには、日本主催か複合主催かと判断するにも自分自身、判断があいまいになってしまっている部分もあるので、詳細を知ったうえで判断させていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

【336 高岡委員】

今期にはいり上半期に佐世保、岡山、姫路で地区アラートセミナーを開催しましたが、全国からメンバーにご参加いただき、全国の協力あって上半期終了しました。仙台フォーラムについては前々から聞いておりますので我々は行かなければならないと考えていますし、日本ライオンズの主催で開催するというのも賛成です。アラート委員会の大事なところは緊急の場合にいかにみんなが集まれ対応するかというところですので、もちろん組織運営も大事ですが、ライングループにおいて情報は届いておりますし、しかし委員会としては文章など書面も合わせていただきたいというところをお願いし、アラートは全員で協力して行うということですのでありますし、仙台は是非とも成功させたいという思いでありますのでよろしくお願いいたします。

【337 中田委員】

日本ライオンズ主催で全国アラートフォーラムが開催されるということについて、わたしは異論なく賛成です。

【進行：333 若林班長】

フォーラムの内容が見えていないという方がいらっしゃったり、今年は委員会が開かれないうなど進み方に問題があったというお話もございました。フォーラムの主催について日本ライオンズにおいて主催するという事で決定しているということですので、主催については変更は無いということと、委員会が開かれなかったことについては、年度の変わり目ではメンバーの把握も出来なかったり連絡網の立ち上がりもだいぶ遅くなったことや、昨年は頻繁に会議を開催できましたが今年度はアラートの規定を作り次期は早く動ける様にしなくてはならないということで一部の会議は頻繁に開催させていただいております。アラート委員会の現状は案内文書を作成することや、委員会に連絡することも容易に

出来ない状況であったり、いまだ連絡網も現在も完全でなかったり、人事をつかめていない現状もあり、委員会運営をうまく進めることが出来ない難しい状況もこれまでございました。しかしながら本年度も下期になっていきますので組織の進め方やプロセスが見えないなどまずいことは理解したうえで今後整備していける部分は早急に対応していく様努めてまいります。

【森川アドバイザー】

皆さんのお話を聞きましたうえで伺いですが、日本主催で異議ないというお話が多かったと思いますが日本ライオンズか日本アラート委員会の主催になるのか分かりませんが、現実問題として日本事務局が業務的に機能的に難しい場合があったり、理事長の承認が無いと発信もできないなど動きに時間がかかってしまうこともあったりするなかで、また日本事務局と複合事務局の連携がうまく機能しない場合もあるなかで、果たして日本ライオンズ主催でうまく開催できるか懸念がある。日本で決定事項を決めようとする際、執行理事会は決議機関ではないが、執行理事会で決議をとったという話が聞こえてきたり、本来揉むべき議事は執行理事会で協議し理事会で承認し、問題によっては社員総会で報告し承認するという流れであるが、現実としてそういう部分も機能しているか難しい状態や、これまでアラート委員会も開催できなかった現状も踏まえ、日本ライオンズを主催として事業がきちんと実施できるか心配である。

日本主催として開催する場合その責任者は日本理事長となるし、アラートに関しては災害が起こった際、迅速に対応しなくてはならず、日本ライオンズを主催とするとき、会議の開催や事の決議に時間を要したりする状況下で、災害時は時間をかけていることは出来ず、日本ライオンズのアラート委員会は各地のサポート役となり各複合地区が対応していくということではなくてはアラートには対応ができなくなってしまうと考えます。

全国で共有することは大事ですが、全国だから日本主催でということではなく、議長は複合のコーディネーターでガバナーは国際役員ですから、各複合のアラート委員さんを中心に議長、ガバナーと協力、調整し、コンセンサスを取り、ガバナー協議会で揉んだことを8複合議長が全国各複合と調整していくのが本来のライオンズの会則に定められた仕組みであり、執行理事会で決定したとか上からことを落としていくとかでなく、災害の際には勝手に地区に入り勝手に活動してということではトラブルにもなってしまいますから、ガバナーの皆さんのご了解のもとコンセンサスを得たうえでしっかり運営し、地区クラブ主体でアラートは動いていかなければならず、日本アラート委員会は各地区、クラブの支援をし、その体制を構築していく連絡協議会でなくてはならず、全国規模の災害ともなれば日本アラート委員会で協議することもあるかもしれませんが、地区地区の災害では日本全体で協議していると時間もかかりすぎてしまい対応できなくなってしまうということも理解いただき、議論していただければと思います。

【山川委員長】

森川アドバイザーが発言されたことが大部分が同意見で、日本の執行理事会は何かを決める機関ではなく委員会に対し諮問したものが上がってきたものを執行理事会で揉み理事会に諮っていき場合によっては社員総会に上げ事を決めていきますので、執行理事会で

何かが決まっているということはございません。

アラートに関してのお話も色々ございましたが災害判定レベルなども含めアラートの動き方などについて前期の段階で規定等を決めましたので日本ライオンズで何かを決めないと動けないということは無く、そうしたことが無い様に昨年規定を作りましたので、日本ライオンズは日本における大規模災害や激甚災害などが発生し日本ライオンズとして何か動かないとならない際に機能すべき団体であり、それ以外の際は基本的に連絡調整役ですので、まさにその通りであります。

委員会が遅れた理由には多々あり申し訳ありませんでしたが、何もしてこなかったわけではなく前期すべきことはし今期行うことは連絡網やプロトコルなど組織として機能する様に地区、準地区にお伝えをし次期にきちんとしたものをつないでいける様にということで全体会議ではありませんでしたが、一部の関係者でリアルやウェブで会議を繰り返し今年度としてこれまで動いてきました。

今回の仙台アラームフォーラムは日本ライオンズから押し付けたということではなく、MD332 から日本主催でどうかと申し出を受けたボトムアップの形でありましたが、実は今までどおり MD でやりましょうという反対意見も強かったですが、説明、企画書等を受けわたしが理解し賛同したので日本主催でやりましょうということで執行理事会に諮らせていただきました。1 複合 10 万円の拠出で 8 複合からという予算については予算も組んでいないし過去の事業の実例と比較し厳しい意見もたくさんありましたが、なるべく予算を落とす努力をしていただくことを前提に何とかご理解はいただいた形となり、そうした意見を 332 で受け登録料を徴収するなどし 1 複合の予算は 3 万円ということにし前回の理事会に諮らせていただき、1 複合だけガバナー協議会を開かないと結論は出せないという条件付きではありましたが同意をいただいた形とはなりました。あくまでも日本ライオンズがやりたいとかやらなければいけないと言ったことではなく、皆さんの気持ちをひとつに熱意を受けての今回の流れであるということをご理解いただき、よろしくお願いしたいと思います。

【佐々木コーディネーター】

事前に web 会議を行い会議について発信もさせていただいておりましたが、ライングループに登録されていない方などもおり会議の連絡が前日になるなど不手際等もあり、一部の方にご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。日本ライオンズの委員会での動きは事務局の移転も重なるなど、また事務局機能的に対応が難しい場合もあることもあるが、これまで同様前任者からの引継ぎ等もしっかりしていただき、連絡等については委員会でも出来るかぎり対応していける様、努めてまいります。

仙台アラームフォーラムについては色々ご意見いただいたところですが、日本ライオンズの主催について異議、ご意見などございましたら伺いたいと思います。

【330 大屋委員】

日本ライオンズの主催ということに反対ではありませんが、日本ライオンズ主催ということであれば村木理事長に出席いただき指導力を発揮していただきたいということもありますし、MD332 にフォーラムの内容などすべてをお任せでよろしいのでしょうか。

フォーラムに参加していただいた皆様には、フォーラムに参加して良かったと思い帰ってもらう必要があり、日本ライオンズが主催で開催するのであれば、この日本ライオンズアラート委員会で内容をよく検討し、どうあるべきか検討していく必要があると考えます。

【森川アドバイザー】

主催がどこで共催がどこで後援がどこかなど、日本ライオンズが主催なのか日本アラート委員会が主催なのかでも事が変わってくるので明確にさせていただきたい。日本ライオンズアラート委員会が主催で開催するなら山川委員長を責任者として日本ライオンズのアラート委員会が主体で内容を決めていかないとならないし、実行委員会が内容は決め日本委員会は内容は分からないということでは流れとしてはまずいと思います。

日本ライオンズが主催となるなら日本ライオンズの理事会が主体となるでしょうし、誰が責任者になるのかも含めあやふやになってしまうことはまずくアラート委員会の立ち位置を明確にしてほしい。日本ライオンズの主催ということであれば村木理事長が責任者ということではよろしいか確認です。

【山川委員長】

わたしがいただいている資料では日本ライオンズアラート委員会 山川で資料も出されていると思いますので 332 でアラート委員会として決定されていたかと思いますので確認をお願いします。

【332 木川田委員】

皆さまから内容が見えないという話もございましたので企画書を共有させていただきますので画面の概要を確認ください。趣旨は日本ライオンズアラート委員会の存在意義を示す啓もう活動であり、ライオンズアラート活動を全国に発信し各複合及び準地区に対しアラートの理解を深めていく。そしてメンバー同士が交流し今後のアラート活動につなげていくというのが目的であります。

名称は「全国アラートフォーラム 2023 in 東北」として開催し日本ライオンズアラート委員会が主催、後援は国際協会 8 複合地区にいただき各複合地区から 3 万円の協力金をいただけないか現在お願いしているところです。実行委員会は MD332 アラート委員会及びアラートメンバーで構成し企画運営を行うこととしています。

当日の内容は、12:30 から 13:15 までを受付、13:30 から 16:00 の開催予定で仙台国際センターの 1000 人ほど入る大ホールで現在会場を考えており、福岡や神戸の動員実績を見ると 300 から 400 人ほどになっていましたが、コロナの影響で見えないところはありますが今回の仙台では 300 人ほどの参加見込みということで考えてございます。

フォーラム案ではオープニングをどうするか、開会は誰にするかなど委員会で詰め作業も行っており、一部は 13:50 から 14:50 で基調講演「東日本大震災を忘れない」という題目で開催し、1 番目が前 332 アラート委員長でした久保田ライオンによる基調講演、2 番目クラブアラート実例で講師は調整中、3 番の準地区活動事例も現在準備進行中ですが輪郭ができてきております。二部は 15:00 から 16:00 でパネラーに山川アラート委員長、森川前委員長等に登壇いただきパネルディスカッションで考えており、現在実行委員会は開催に向け担

当業務を務め活動を進めているところです。

予算について日本ライオンズは主催ですが予算には無いと聞きましたし、複合にも予算は無いとのことで、どこにも予算は無いとのことです。どこからかどうにか予算は集め何とか開催させていただけるのであれば開催しなくてはならないという気持ちで現在頑張らせていただいているところでございます。

ホールの予算については最低のラインでも 54 万かかり、懇親会については少々お高くなっていますが参加者から登録料を ¥9000 円ほどいただきケータリングで開催させていただく方向で考えてございます。

開催までのタイムスケジュールについては 11 月 26 日以降会議等を繰り返し行い、東北 6 県の担当者に集まりいただき会場の下見や打合せを行い、1 月 24 日には進捗の会議があり、そのほか最低でも週に 1 回の頻繁な会議を行い意見交換を行う予定です。

参加者の皆さんは期待してお越しになられると思いますので、日本ライオンズやアラート活動についてライオンズ会員をはじめ一般の方にも理解いただける様、現在頑張って準備を進めているところでございます。

【進行：333 若林班長】

フォーラム詳細について木川田委員からご説明がございました。年当初からこうした内容で委員会が開催できていたら良かったのですが、年初の委員会メンバーが確定し情報を把握するところから苦戦し、アラート委員会メンバーを確認することについても山川委員長補佐として年初に若林の方で日本事務局や 8 複合事務局に対し動きましたが、情報が不確かであったり日本ライオンズの流れや 8 複合の流れなど慣例に沿わないことで動くことは難しいとのこともあり、事を進めるにも進めることが出来ない現状もございました。これまで恒例で開催されてきたアラームフォーラムについても、この主催を日本主催でどうかという案も途中から浮上してきた話であり色んな状況が重なり今に至っていますが、次期を見据え委員の皆さまと今後のことをしっかり詰めていきたいと考えております。また心配するところは地区によって前年から引継ぎがきちんとされなかったり、年度や人事が変わるとアラートで協議されたことや取り決めされたことが元に戻ってしまうという前例もございましたので、組織運営について次期体制を踏まえ今年度中に決めるべきは決め、仙台フォーラムについても色々ございますが日も近く迫ってきておりますので、これについてもしっかり固めてまいりたいと感じました。

【山川委員長】

いま確認いただいた資料はアラート委員会委員長山川名主催で執行理事会と理事会に出ささせていただき承認をいただいているものなので日本アラート委員会の主催としての開催で問題ないはずですが、資料は皆さんのお手元にいっていると思っていましたが資料がいない方もいるということが分かりましたが、予算についても複合の立場では年初に計画していなかったため予算も組んでいないということは当然だろうと思いますが、イレギュラーな事態もよくあることで、その辺のご説明もさせていただいたうえでご理解をいただき承認をいただいておりますので予算についても問題ないかと思います。

会計報告についておそらく皆さんには資料がいきわたっていないかと思いますのでご説明

させていただきますが、アラート委員会の予算はいくらが残っていましたが現在は日本ライオンズの本会計に繰り入れておりアラート委員会としては予算は持っていない状態です。なぜ予算を持っていないかの理由は過去の海外災害支援で集めた資金の内容が確認しても見えてこず不明確で、しかし過去のことを調べようにもどうしようもない問題もあり、日本アラート委員会としては予算は持たないということに現在はしていますのでご理解いただきたいと思います。

これからの流れにつきましては本日皆さんに会議に出席いただければフォーラム内容のご説明をさせていただきます開催するということで決定させていただいている内容でございますので、皆さんの力を合わせ素晴らしいフォーラムにさせていただきたいということで何卒皆さまのご協力をよろしくお願いしたいと思います。

【柿原シニアアドバイザー】

今回のことは基本的に説明不足ということに尽きると思います。今期に入り初めての委員さんまでの会議として開催され色々な意見が出ておりましたし、わたし自身も企画書を拝見し説明を受けるまで内容を分かっておりませんでした。仙台フォーラムについては実施することで決まっております開催まで1か月ほどと迫っておりますので、いすべきことはフォーラムを成功させるために進むことですし、1000人ほどは入れる大きな会場と聞きましたが300人ほどの参加では大きな会場で少なく感じる部分もあるかもしれませんので、良いフォーラムを開催するのであればせつかくの機会でもありますから社協や関係団体、当時被災され色々な経験をされた地域の一般の方など、ライオンズ以外の方も広く多く参加いただき、ライオンズの活動を広く知っていただく意味でも素晴らしい機会となるかと思っておりますので、コロナなどの影響もあるかとは思いますが参加を多く募っていただければと思います。

今回は順序が前後したりということもありましたが実行委員会も何度も開催され頑張っておられますし、山川委員長へ報告をもとに日本アラートとして動いていくということとは間違いではないと思います。今後も次期はどなたが委員長をされどなたが委員でと進んでいくかと思いますが、年度が変わったり人事も変わることで日本アラート委員会の進み方や取り組みについて軸はブレない様にさせていただけたらと思います。

【森川アドバイザー】

先ほど山川委員長から前期のアラートの支援金については把握していないという話がありましたが、わたしのアラート委員長期には委員会ごとに通帳コピーを添付した決算報告をしていたので見えなかったということはないかと思いますが、識名理事長期の決算報告も監査の方が判を押された形で決算が報告された形で理事会で承認を取られてますので、それは当たらないと思いますので確認を取っていただければと思います。

フォーラムについては先ほど木川田委員からきちんとした資料が提示され説明されたところでわたしも納得しましたし皆さんも納得されたところだと思いますので、そうした文書を事前に共有されていれば分かりやすかったですし、人を集客する際には、たとえば社協とも協定を結んでいますし、様々な方にお集まりいただき日本ライオンズのアラートの活動にご理解をいただくという点で多くの集まっていだいて、集客の方法についてすでに時

間も無いので 8 複合の委員さん、議長と綿密に連絡を取っていただき、ガバナーを中心にクラブの皆さんに早急に広めていただいて集客が見込め採算性が取れるのであれば規定の日程で開催していただき一丸となり頑張っ
て開催していただければと思います。

山川委員長が総責任者となり主催されるのであれば山川委員長の判断に日本ライオンズの執行理事会や理事会は一任となればスムーズな運営もできるでしょうし、皆さんも賛同され皆さんの責任ということで一丸となり頑張っ
て進めていただければと思います。

【佐々木コーディネーターより審議の確認】

○仙台フォーラムは山川委員長をトップとしフォーラムを開催させていただくことよろしいか。 【※異議なし】

○日本執行理事会でハイブリット形式の開催の案もございましたがこれは行わず、YouTube による録画配信で検討しますが、この件を実行委員会に一任でよろしいか。

【※異議なし】

○8 複合地区から 3 万円の拠出についてよろしいでしょうか。【※異議なし】

○次年度開催地は MD336 池原議長ご承認のもと立候補されていますが承認いただけるか。

【※異議なし】

以上の件について信任いただきました。

1 月 24 日にはアラート委員会をハイブリット形式で計画させていただいており、下期の委員会の計画案を皆さんにお伝えし議論させていただきたいと考えてございますので、皆さんご協力のほどよろしくお願いいたします。

【山川委員長】

1 月 20 日に広島にて執行理事会が行われる予定で、そこで本日のアラート委員会の報告をします。仙台フォーラムについて大きな変更はありませんので問題は無いかと思いますが、20 日の広島に間に合う様 19 日までに日本事務局へ議事録を上げていただく様願
いします。

日本事務局機能についてお話しも少々ございましたが、日本事務局に特に問題があるということはありません。現在 2 名のスタッフで仕事を回していますが 2 人とも仕事が早くとても優秀で仕事も回しておりますが、膨大な量の業務に間に合わない現状もあり皆さんにはご理解いただければと思います。

本日の会議での反省点として資料配信されていると思っていましたが、そうではなかった様なので、資料は早めの配信や共有などで今後のこともありますのでお願いしたいと思います。今日の議事録に関しましても早めの提出をお願いします。

仙台フォーラムについて皆さんと盛り上げていきたいですし、やって良かったと言われる次につながるフォーラムにしたいと思いますので何卒よろしくお願いいたします。

【335 団委員】

提案、確認ですが、日本事務局からの案内が滞る場合があるというお話もありましたが、わたしはライオン誌の委員長をさせていただきライオン誌の委員会案会は毎月出しますが、それに社団理事長の承認は不要でライオン誌の委員長と編集長の連名で出しておりましたので、アラート委員会の場合も事前に理事長了解のうえ山川委員長と吉本副委員長の連名で案内を出されたらどうかという提案と、日本事務局が激務なことはわたしも承知しておりますので今回アラート委員会のサポートをされております若林さんや木村さんの方で発信の代役をすることが可能であれば、情報もスムーズに流れるのではないかと思います。ラインなどでの連絡だけでは情報を見落としたりすることもございますので複合などにもきちんと情報が届く形で運営されるのが望ましいと提案させていただきます。

もう1点は1月24日に委員会がありますが事前に議案の内容をお知らせいただくと時間を有効に使えますので、その点についてもお願いしたいと思います。

【森川アドバイザー】

アラート委員会を構成されているメンバーには班長、副班長もいらっしゃいますので、本日の情報共有をきちんとしてあげてください。

【橋本東日本エリアリーダーより閉会あいさつ】

貴重な時間で委員会を皆さまありがとうございました。332 一丸となり頑張っていきますので寛容な気持ちでお見守りください。本日はありがとうございました。